

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	川崎市子ども夢パーク	評価対象年度	平成28年度
事業者名	・事業者名 川崎市子ども夢パーク共同運営事業体 ・代表者名 公益財団法人川崎市生涯学習財団 理事長 金井 則夫 川崎市中原区今井南町514-1 ・構成員名 特定非営利活動法人 フリースペースたまりば 理事長 西野 博之 川崎市高津区千年435-10	評価者	青少年支援室長
指定期間	平成28年4月1日 ～ 平成33年3月31日	所管課	こども未来局青少年支援室

2. 事業実績

利用実績	①年間延べ利用者数:88,544人 (平成27年度:91,895人)	②年間延べ利用団体数:825団体 (平成27年度:769団体)																										
収支実績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;"></td> <td style="text-align: right;">単位:円</td> </tr> <tr> <td>1 収入</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 指定管理料</td> <td style="text-align: right;">69,654,000</td> </tr> <tr> <td> 合 計</td> <td style="text-align: right;">69,654,000</td> </tr> <tr> <td>2 支出</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 人件費・賃金</td> <td style="text-align: right;">36,489,026</td> </tr> <tr> <td> 光熱水費</td> <td style="text-align: right;">3,136,134</td> </tr> <tr> <td> 委託費</td> <td style="text-align: right;">9,406,963</td> </tr> <tr> <td> 消耗品費</td> <td style="text-align: right;">2,820,177</td> </tr> <tr> <td> 修繕費</td> <td style="text-align: right;">3,707,631</td> </tr> <tr> <td> その他経費</td> <td style="text-align: right;">14,094,069</td> </tr> <tr> <td> 合 計</td> <td style="text-align: right;">69,654,000</td> </tr> <tr> <td>3 差引</td> <td style="text-align: right;">0</td> </tr> </table>			単位:円	1 収入		指定管理料	69,654,000	合 計	69,654,000	2 支出		人件費・賃金	36,489,026	光熱水費	3,136,134	委託費	9,406,963	消耗品費	2,820,177	修繕費	3,707,631	その他経費	14,094,069	合 計	69,654,000	3 差引	0
	単位:円																											
1 収入																												
指定管理料	69,654,000																											
合 計	69,654,000																											
2 支出																												
人件費・賃金	36,489,026																											
光熱水費	3,136,134																											
委託費	9,406,963																											
消耗品費	2,820,177																											
修繕費	3,707,631																											
その他経費	14,094,069																											
合 計	69,654,000																											
3 差引	0																											
サービス向上の取組	川崎市子どもの権利に関する条例の理念に沿った事業展開を実施していた。また、利用者や地域住民の意見を運営に反映させ、サービス向上に取り組んでいた。																											

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
利用者満足度	事業推進	施設の目的に合った事業が実施されているか	5	4	4
		計画どおり事業が実施されているか			
	事業成果	事業成果として利用者数に増加傾向がみられるか	5	3	3
	条例の理念の実現	川崎市子どもの権利に関する条例の理念(子どもの参加の促進、子どもの居場所の確保等)の実現が図られているか。	5	5	5
(評価の理由) 子どもたちの育ちに「遊び」をつくり出すことを尊重し、「自分の責任で自由に遊ぶ」という理念を持つプレーパークを設置・運営し、そこでの活動を通して、子どもも大人も共に成長していけるような環境を整備した。子どもの「やってみよう」という気持ちを尊重し、自主性や協調性を育む取組(夢まつり、こどもゆめ横丁など)を展開し、絵本の交換会など、利用者の意見を取り入れた新たな事業にも取り組んだ。また、様々な課題を抱える子ども・若者たちも受け入れ、彼らに安心して自由に過ごせる居場所の運営を行った。こうした取組について、新聞、ラジオ、テレビ、地域情報誌等メディアを利用し、イベント、自主企画事業や活動の様子を発信しているだけでなく、取材を積極的に受け入れ、夢パークの理念、活動の様子を伝え、認知度の向上、利用促進を図っている。平成28年度の総利用者数は、主要イベント時の天候不順により減少したが、利用団体数は増加した。					
組織管理体制	適正な人員配置	利用人員等を考慮し、事業実施に必要な人員が配置されているか	10	3	6
		事業の目的を考慮した適正な職員が採用されているか			
	職員の研修体制	職員のスキルアップを図るために必要な研修等が実施されているか	5	4	4
	個人情報等の取扱	個人情報保護の法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	3	3
(評価の理由) 必要な有資格者(保育士、教員等)が採用され、計画どおりの人員配置が行い、適正な職員採用が行われた。年間43回の研修が計画的に実施された。施設の理念に関する研修、子どもを取り巻く社会状況に関する研修など、施設の特徴とニーズに合わせた研修を積極的に開催し、職員のスキルアップを図り、成果を施設運営に反映させた。個人情報の取扱いについては、適正な管理・運用が行われ、情報漏えい及び紛失等の事実はなかった。					

サービス向上及び業務改善	施設・事業の広報	施設や事業が積極的に広報されているか	5	4	4
		広報の方法に工夫が見られるか			
	利用者への対応	利用者に対する接遇が適切にされているか	10	3	6
	学校及び行政機関との連携	事業実施に当たり学校や行政等と連携が図られているか	10	5	10
	利用者ニーズ	利用者ニーズの把握がされているか	10	4	8
把握したニーズが事業運営へ反映されているか					
(評価の理由) 定期的な広報誌の発行、ホームページでの施設、イベント紹介、新聞・テレビ・ラジオ・情報誌等のメディアを利用したPR等の積極的な広報を行った。国や地方自治体、学校、市民活動団体等の視察を頻繁に受入れ、全国に向けて積極的な情報発信を行った。 利用者への接遇について、接遇研修等により職員のスキルアップを図り、適切に対応した。 地域団体・学校が参加する施設の運営懇話会を開催して意見などを運営に活かしているほか、市や区の各種会議への出席、職員・教員の研修等の受入れを行うなど、行政等との連携を積極的に行った。また地元の小学校との情報交換や、地元町内会の協力によるイベントの開催など、地域とも積極的に連携し交流を進めた。不登校児童の居場所事業では、学校や区役所・児童相談所等の福祉機関と連携して子どもの状況を把握・共有して支援に結びつけた。 子ども、若者の自主性を重視して、利用者懇談会やアンケート等により意見を集め、その意見をイベントの内容や施設の運営方法、利用方法などに積極的に反映させた。					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	3	3
		利用者の安全確保	利用者の安全確保のため、工夫がされているか	5	4
	事故等が発生した場合に適切な対応が行われているか				
	防犯対策	施設の防犯のための工夫がされているか	5	3	3
		緊急時のマニュアル等が整備されているか			
災害への対応	避難訓練や消防訓練が適正に実施されているか	5	4	4	
	災害発生時のマニュアル等が整備されているか				
(評価の理由) 利用者の安全を確保するため、日常点検及び毎月の定期的な点検を入念に行い、修繕の必要な箇所を把握して、適切な修繕(壁や調理場の補修等)を行った。感染症予防等の衛生管理も適切に行った。 リスクとハザードに関する研修の実施、職員による巡回、子どもが見えにくい位置の危険(釘がとび出ている等)の除去の徹底等により、事故防止の徹底を図った。事故等が発生した場合のマニュアルが整備され、保護者との連絡を丁寧に行う等、適切な対応を行った。 防犯カメラの設置や、地域との連携による防犯体制が構築され、緊急時のマニュアルも整備されている。 災害発生時に利用者の安全を確保するため、災害発生時のマニュアルを整備し、利用者とともに避難訓練、消防訓練を適正に実施した。また、災害用井戸の維持管理、帰宅困難者の受入のための備蓄品の管理など、施設として災害対応の体制を整備した。					
収支計画・実績	適切な金銭管理・会計手続	適切な会計処理がされているか	5	3	3
		効率的・効果的な支出	5	3	3
	計画に基づく適切な収入が確保されているか				
	計画に基づく適切な支出がなされているか				
	支出に見合う効果が得られているか	効率的な執行等、経費削減の具体的な取組がなされているか			
(評価の理由) 仕様書に基づき、適正な会計処理が行われた。ごみの持ち帰りの徹底、廃材や不要物品の受入等の工夫により、経費の削減を行い、効率的・効果的な支出を行った。					

注) 配点×(評価段階/5)=評価点

4. 総合評価

評価点合計	73	評価ランク	B
-------	----	-------	---

注) 評価点:100点満点。評価ランク:5段階評価

A(80点以上):特に優れている、B(70点以上80点未満):優れている、
C(60点以上70点未満):適正である、D(50点以上60点未満):改善が必要である、
E(50点未満):問題があり適切な措置を講じる必要がある

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

川崎市子どもの権利に関する条例の理念に基づく象徴的な施設である本施設は、自由な遊び場として、子どもの自主性を重視し、その主体的な取組を尊重し、自発的活動を支援することにより、それぞれの子どもに応じた成長及び子どもの地域等における活動への参加の促進に寄与している。また、不登校児童生徒の居場所である「フリースペースえん」では、指定管理者の専門性や人的ネットワークを活かした様々な活動が行われている。自由な遊び場や地域における子どもの居場所への需要の高まる中で、そのようなニーズに迅速かつ柔軟に対応していることは非常に高く評価できる。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

自主的、自発的活動と居場所づくりを支援するため、引き続き事業者、地域一体となって適切な管理運営を行うとともに、施設の理念をしっかりと職員間で共有し、子どもの権利条例の理念を具現化する施設としての役割を今後もしっかりと担うこと。
